



いまいは今
vol. 263

発行 今井町並み保存会
発行日 令和4年5月1日
電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井景観支援センターまで

富田屋 洲脇さんの土蔵

修理完了!!

令和3年度に保存修理の終了した物件について、今井町並み保存整備事務所提供の資料から、取材に協力していただける事例をシリーズで紹介していきます。

先ず最初は、昨年11月に檀原市ふるさと納税の記事でも掲載した「富田屋」さんの土蔵を取り上げます。富田屋の洲脇さんは、2015年に今井町に転居して珈琲豆の焙煎事業を営んでいます。

この土蔵の西面と入口は、学校通りに面して中町にあり、木造二階建て本瓦葺きで、創建は1885年頃と推定されます。修理前は外観の老朽化が激しく、漆喰が剥離して荒壁土も剥落状態でした。しかし、一階から二階への通り柱があり、小屋組には直径40〜50センチもある立派な松材が使われている等、風格のある土蔵です。

洲脇さんは、令和2年9月にこの土蔵を

購入し、令和3年6月に修理工事に着工、今年3月に工事が完了しました。



修理前



修理後

4月からこの土蔵の一階に珈琲豆の焙煎機を移設して、焙煎作業場、出荷場、倉庫として利用しています。

二階は多目的な憩いの空間

二階はクラウドファンディングを活用して資金を集め、地域の方々のミニ・コミュニティとなる部屋を作り上げました。天井は小屋組がむき出して、周囲の壁も荒壁がその



まま見えて子供も大人もワクワクする空間となっています。厨房設備を備え、地域の人々が気軽に歓談する場にしたいと願っております。

今後は本棚を置いて、図書室の機能をもたせ、人々が本を持ちより又、持ちかえるという新しい形の本が交流する図書室の運営も考えておられます。

修理工事にあたって、窓や入口の大きさについては町並みとのバランスで妥協した事もあったようですが、この改修には大いに、満足しておられる様子でした。

お知らせ

今井町並み散歩

5月13日(金)〜15日(日)開催予定

「コロナ禍で2年連続して中止せざるを得なかった今井町並み散歩をウイズコロナで左記の通り開催する予定です。

茶行列の衣装展示

稱念寺・旧米谷家・重文高木家

今井まちや館・今井景観支援センター

重文稱念寺 本堂公開

重文民家内部公開

音村家・高木家・中橋家・旧米谷家

名工の館 茶道具展示 旧米谷家

今井まちかどアート

稱念寺庫裏(拓本展示)

今井にぎわい邸(藁書展示)

阿伽陀屋 若林亭(漆と書道展)

今井町の商い

下校時の通学路を辿って

若林 稔

私が生まれ育ったのは八幡町で農家でした、お爺さんは米屋をやっていたようで、若林商店の商いカバンが残っていたり、母からもよく聞いていました。

学校を出てすぐは大中医院⑩、その向いは小泉文房具店①、次は道北角の上田商店②、駄菓子やおもちゃ、文房具もありました。その北側は金田の寿司屋さん③、時々配達してくれておいしい寿司を食べさせてもらいました。出前の岡持ちが懐かしいです！

南御堂筋の東角には、塩谷の饅頭屋さん④、向かいは藤根精米所⑤、反対側の角は中西文山堂の印刷屋さん⑥、斜め向か



昭和30年頃の
今井町の商い
地図

いには藤根の下駄屋さん⑦、学校通りを北に進むと、右手に米善の娘さんが和裁の教室⑧を、そして本町筋の東角は米善の米屋さん⑨、練炭や炭、塩、縄などいろいろなものも売っていました。

その向かいは古林建具店⑩、東隣が松尾青果店⑪、西角も八百新青果店⑫で、その北向いはアイスクャンデーの製造小売店⑬、本町筋は軒並み商店が沢山残っていました。

学校通りを更に北へ、西角は西藪鉄工所⑭、私の子供のころはまだふいごもあって童謡の村の鍛冶屋さんそのままの鋏や鋤の属(さっかけ)をもらいました。

北角は勝井時計店⑮(現在は勝井洋装店)、北へ進むと左側に寺田木工所⑯、大工町の通りの角は西田のかしわ屋さん⑰、

北に進むと山尾の釣り具店⑱、と大高の靴屋さん⑲があつたが、家に帰るのには左に折れて西へ、最初は北側に柴田のタバコ屋さん⑲、次の三つ角は中村のかしわ屋さん⑲、次の角にはトミヤ⑲と北へマルGのパン屋さん⑲が並んでその隣が桑元の呉服屋さん⑲で、向かいは堀川青果店⑲、お地蔵さんの手前に当麻木工店⑲がありその向かい側順明寺の南側に石田時計店⑲、北西の角は今中歯科医院⑲、北町小公園の所には森熊の

青果・駄菓子屋⑲で、向い側は浜野の竹・うちわ屋さん⑳。

トミヤのパン屋さんまで戻って西へ、南側に安田豆腐店㉑、北角にチヨッキリ軟骨の深井薬品㉒と吉田肥料店㉓(現在は吉田寝具店)、2件西で三浦のパーマ屋さん㉔が大工町の商店群、次は八幡町でかつては酒屋さんだった奥田さん㉕、その向かいは柴田の油屋さん㉖、奥田さんの西側が藤根の米と下駄屋さん㉗、西隣が八尾の靴下屋さん㉘で、隣に中川の綿屋さん㉙、そして向い谷田さんの蔵に森田の刷毛製造所㉚があつた。北角が我が家到着。

向かいは福井の檜皮吹き職人さん㉛、お隣さんは松尾の墨屋さん㉜(現在は阿伽陀屋 若林亭)、おじいさんが全身真っ黒になって墨を製造されていました。斜め向かいは山崎のラジオ屋さん㉝。

通学路の1本の道筋に沿ってお店を出しておられたところを書いてみました。随分たくさんのお店が当たり前のようになつて、それなりに繁盛していたのだからすごいことですね。

こんな調子で私が小学校へ通っていた頃の町中の覚えておられるお店をこれからも連載していきます。抜けているお店があつたら教えてください。

次はどこを書いていこうかな！